# ファーム肥田タイムズ



令和元年 11 月 14 号 ファーム肥田運営委員会

#### 特集

- 1. 今年度の水稲
- 2. 飯用米の販売
- 3. 小麦の状況
- 4. 畦畔補修・防草 シート敷設
- 5. 先進地農業 視察レポート
- 6. 今後の予定
- 11 月下旬 大豆収穫 田華の豊稲散布

12 月上旬 荒堀

12月7日 慰労会

ひとりごと

今回は少し硬い話 になりますが、法律 についてです。基本 的に6つの法律「憲 法」「民法」「商法」 「刑法」「民事訴訟 法」「刑事訴訟法」 が主たる法律で、そ の他にも政令・省令 なども有ります。特 に憲法は「国家が守 るべきルール」、そ の他は「国民が守る べきルール」です。 現政権下で憲法改 正が云々されてい ますが、国民主権の もと賢明な判断をし たいものです。久

## 令和元年の水稲

残暑が残る8月26日の「みずかがみ」に始まり、順次「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」と収穫作業を実施。「みずかがみ」については前年並み、「コシヒカリ」は台風の影響で倒伏して減収。「キヌヒカリ」は前年並み。「日本晴」は大きく



減収となりました。他所においても中晩生種は悪かった模様です。滋賀県の作況指数は99となり減収でしたが、買取価格が上昇した結果、利益は確保することが出来た。

### 飯用米の販売実績

今年度の飯用米は、申込者に 1,199 袋を販売・納品させて頂きました。その他の 米は、JA 東びわこ・米穀商社に予定通り納入した事を報告させて頂きます。

### 小麦の状況

2020 年産小麦の播種作業は、11月6日 8日の8日間で終えることが出来ました。当初の予定より少し遅れたが、天候不順には逆らえません。近年、小麦は収量も多く、当法人にとって収益性の良い作物になっています。2019年産の収量は総量 25,564 kg/681a、単収 375kg/10a でした。地域の基準単収は 314 kgです。

#### 畦畔補修・防草シート敷設

11月16日~18日にかけて畦畔の補 修作業及び防草シートの敷設作業を実 施しました。多くの人に出役していただ き、ご苦労様でした。除草作業の軽減は



今後も継続していきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

#### \*先進地農業視察レポート\*

去る 7 月 25 日~26 日に長野県伊那北地区の先進地農業の視察研修に行ってきました。当該地域は中山間地に位置しており、肥田のような平地農業とは違った苦労が有るようです。各圃場に高低差が大きく、5m位は普通でそれ以上の段差がありました。それでも水・畦畔管理には色々と工夫が施されていた。また、作業者の高齢化は同様の問題点で、若年層の新規就労者を募集・採用して、専業化による後継者の育成を図っていた。国・県のスマート農業に応募、無人トラクター・ドローン・リモート除草機の導入で、省力化農業を推進していました。リンゴ・ネギ栽培等の6次産業化による女性の通年雇用も、永続性のある地域農業の姿だと思う。「手を出せ、すぐ出せ、知恵を出せ、それが出せなきゃ、顔を出せ!」

元下。不过过多 . 一种中国制造